

— 目 次 —

1. オンライン研究会（シンポジウム）を開催しましょう
研究企画委員会 委員長 亀田和彦
2. 第63回大会の開催要領について
事務局
3. 大会個別報告申し込み、要旨作成の手順について
事務局
4. 学会賞御推薦のお願い
事務局
5. J-STAGEの早期閲覧について
編集委員会、事務局
6. 学会誌投稿に関するお願い
編集委員会
7. 事務局からのお知らせ
1) 会員情報の登録と更新のお願い
2) 会費納入のお願い
8. その他

1. オンライン研究会を開催しましょう
研究企画委員会 委員長 亀田和彦

ご存じのように、地域漁業学会ではオンラインによる交流機会を得るために、Zoomを契約しています。私たちは当学会の会員ですので、このZoomを使って臨機応変に研究交流や意見交換の機会を持つことができます。

例えば、これまでの大会では、大会の開催期間に併せて、かなりの時間をかけてシンポジウムの準備をしてきた経緯があります。シンポジウム当日は、論点や知見に関して議論があり、これを受

けて後日、印刷媒体で発表内容と議論のまとめが文章化されるという流れがありました。こうした企画方針は今後も重視されるものだと考えます。ちなみに今年度は、依然としてコロナ禍が続いていることから事前準備ができませんので、大会期間中にはシンポジウムは実施できません。

さて、私たちは上記のようにオンラインによる交流ができるようになりました。このことは、私たちの学術交流は「大会日程を前提にした企画」にとどまらず「必要に応じて日程を自由に設定できる企画」へと改善が進んだと言えると思います。少し、極端な説明ですが、従来の（前者）企画だと、シンポジウム報告者と事務局は日程と進捗状

況を共有できるがこれに関わらない会員は会報などによる情報提供で初めて企画の内容を知る、という関係があったと思います。

ところが、後者のような利用ができるオンライン環境を使えるわけですから、例えば、①例年の大会開催日に合わせるというような日程面の限定から離れて、②必要（実施時期・回数・論点整理といったたくさんの切り口）に応じて、③練りに練った見解の発表の場として使うだけでなく議論・意見の交換自体を目的とした開催もできて、④実施費用はごくわずかで、⑤実施時間帯も自由に設定できる、というメリットを使いこなすことができるようになりました。

このことは何をもたらすのでしょうか。おそらく、当学会の3本柱のうち「学際性」に大きく貢献することができると思います。さまざまなテーマで臨機応変にオンライン研究会を開く、それには多様な専門領域で研究をしている当学会員が参加して意見を述べ合う、企画次第では会員外の研究者の参加も期待できる、というわけです。学際性という柱を太くする基盤のひとつは、個々の会員が多様な専門領域の知見に触れる機会が多い、ということにあるとすれば、臨機応変に実施できるオンライン研究会を開いたり参加したりする意義はとても大きいと思います。

そこで、紙面を借りて、オンライン研究会（仮称）の開催を募集いたします。

募集要領

1) 締切

7月20日（火）

テーマが決まりましたら随時ご応募ください。

2) 応募先

事務局

jrfs@kyouritsu-online.co.jp

林苑

3) 応募内容

テーマ

概要（簡単な紹介）

報告者（未定の場合は報告人数）

4) 所要時間

時間の長短は問いませんが、大会スケジュールのシンポジウム枠内（土曜日午後）に収まるようにご計画ください。

応募タイトルが複数ある場合には、時間を区切って開催していただくこともあります。

5) 学会誌掲載

通常のシンポジウム論文として特集いたします。

応募者との調整は研究企画委員会が担当いたします。

2. 地域漁業学会

第63回大会の開催について

2021年6月11日

事務局

昨年の6月、地域漁業学会の大会をWEB上にて開催させていただく旨の会報を皆様にお届けいたしました。残念ながら今年の第63回大会の開催も完全な形ではできそうにありません。残念です。ただ、今年はオンラインを活用しながら、シンポジウム、個別報告会、理事会・総会を開催する予定です。各種委員会は柔軟にZoomやメールを使いながら諸議題を検討していただくことになりそうです。

以下、会長、副会長、事務局等で検討しております大会の大きな開催要領をお知らせいたします。

1) 開催日時：

2021年11月6日（土）～7日（日）

一部のプログラムは開催日程前後に組み込むことがあります。

(詳しくは個別報告に関する説明を参照してください。)

2) 開催形式：

基本的にはオンラインとします。総会・理事会・シンポジウムの運営のために拠点を設けて対応します。なお、状況が改善されるような場合には改めて検討いたします。

3) オンライン拠点：

金沢大学（予定）

事務局員等が集まり運営します。感染状況等によっては変更する場合があります。

4) 開催スケジュール：

11月1日（月）：ここまでに各種委員会を開催（メール配信、オンライン等を活用）。委員会には事務局に審議内容と理事会報告資料を送付していただく予定です。

11月6日（土）：

理事会 9時～11時半

（選挙があるため時間をとっています）

総会 11時半～12時

シンポジウム（オンライン研究会）

13時～16時

* いずれも Zoom 対応とします。

* オンライン懇親会：可能であればシンポジウム終了後に開催

11月7日（日）

個別報告 9時～12時、13時～16時

1報告 30分（報告20分、討論10分）。

・報告数が多い場合は、前日の金曜日ないしは次週で調整します。

・発表スケジュール表及び要旨集を例年通りに作成し、HPに掲載します。

・配布資料は前もってアップしてもよいし（Google Drive）、発表当日でもよいです。

4) 総会、理事会： オンラインで実施

今回は理事改選、新会長の選出、学会賞選考委員の改選を予定しています。

(1) 理事選出：部会推薦理事については予め名簿を部会長より提出していただく予定です。最終的には理事会で決定いたします。

(2) 学会賞選考委員選出：理事会にて投票による選出を行います。選出された委員のなかから委員長を選出します。

(3) 会長選出：新理事による選挙を行います。

*オンライン上の理事会で選挙を実施しますが、匿名性の確保がなされるようにいたします。

3. 大会個別報告申し込み、要旨作成の手順について

事務局

大会個別報告の申し込み手順です。個別報告会はオンラインで実施します。昨年とは少し形式が違っております。リアルタイムでの発表を予定しています。申し込みから発表までの手順を示しています。ご確認ください。

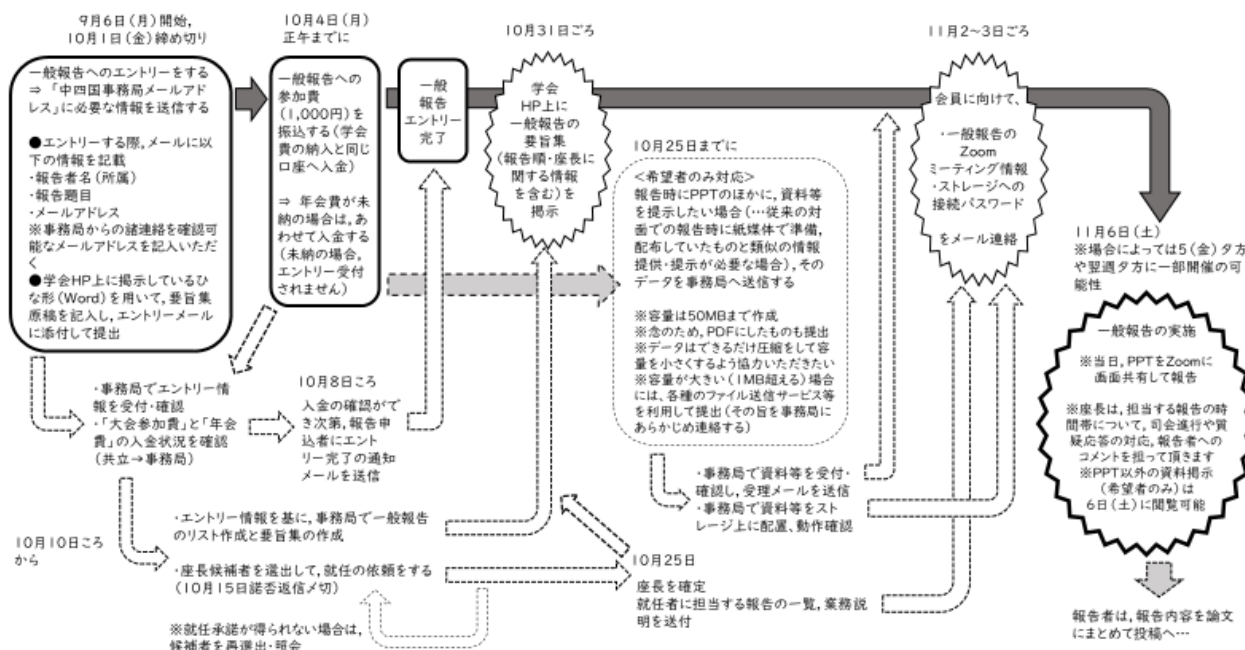


図 第63回大会での「一般報告」の実施体制と作業手順・時期

手順

一般報告エントリー 9月6日開始、10月1日締め切り

要旨集原稿を応募時に提出（学会 HP 上にある Word ファイルを利用）

一般報告への参加費 10月4日までに振込（エントリー完了）

発表スケジュール、座長の確定 10月25日頃予定

会員向けに要旨集の配布（PDF）、HP掲載、

10月31日 予定

Zoom ミーティングパスワードの配布 11月2~3日頃予定

*当学会のメーリングリストで送ります。アドレス登録にご協力ください。

（7. 事務局からのお知らせを参照）

報告資料の配布 配布を希望する報告者のみを対象（図を参照ください）

*報告時には Zoom を使って PPT 等の資料を共有することができます。

質疑・応答 報告後に行います。

報告者、タイトル、要旨の提出

- 報告者、連名報告者の所属と氏名
- 報告のタイトル

● 要旨集原稿（学会 HP 上にある Word ファイルを利用して作成）

*数日以内に受付確認メールが届きます。参加費 1,000 円を振り込んでください。

*会費未納の方は、申し込む際にお支払ください。いずれも振込先は以下の通りです。

口座名：地域漁業学会

郵便振替：01750-0-83886

銀行振込：三菱 UFJ 銀行 新富町支店 普通 0146078

お問い合わせ先：

事務局大会担当： 林、山尾、天野

E-mail： chiikioffice.chushikoku@gmail.com （◎を@に変換して下さい）

注意事項

●お送りいただいた原稿は、報告要旨集に収録して配布・販売するほか、地域漁業学会の HP 等に掲載・公表される事があります。ご了承ください。

●会費を滞納している会員は、一般報告に申し込むことができません。事前に会費を納めていただきますようご協力をお願いいたします。

4. 学会賞御推薦のお願い

学会賞選考委員長 田和正和

「学会賞」、「学会奨励賞（中楯賞）」、「学会功労賞（柿本賞）」の御推薦をお願いいたします。

なお、内規では推薦の締切は大会の1週間前となっておりますが、なるべく**10月22日（金）**までにお送りください。メール審議、オンラインでの委員会になるため、時間を要します。

推薦の手順、様式等については、以下の URL をご参照ください。

地域漁業学会のHP、学会賞のページ

<http://jrfs.org/syo.html>

5. J-STAGE の早期閲覧について

編集委員会、事務局

すでにお知らせいたしましたが、学会誌の最新号を早期に閲覧できるようにいたしました。会員

の皆様には学会誌の ID とパスワードをお送りしています。ご利用ください。

なお、ID やパスワードを紛失された方は、学会事務局までお問合せください。

J-STAGE は、以下の URL もしくは、「J-STAGE」でご検索いただくと、トップページに入ることができます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/>

6. 学会誌投稿に関するお願い

編集委員会 竹ノ内徳人

会員の皆様におかれましてはコロナ禍のなか不自由な研究活動を強いられていることと存じます。

当編集委員会としては学会誌の発行を例年通りに行うことで皆様の研究活動を微力ながら支

援させていただければと思っております。幸いにも第 61 巻 1 号の発行にこぎ着けることができましたし、2 号を鋭意準備中です。

ただし論文原稿の投稿については厳しい状況が続いております。前回の会報でもお知らせしたとおり、論文等（一般論文・研究ノートなど）の掲載料が 2 万円に引き下げられました。また過去 2 年（第 60 回大会・61 回大会）において学会報告し、なおかつ論文投稿されていない原稿も引き続き受け付けております。会員の皆様には、これらの機会をご活用いただき、積極的にご投稿いただけますようお願い申し上げます。

※J-STAGE 関係のお知らせ

5 月 20 日付けの HP トピックスにもありますように会員の皆様へのサービス向上の一環として「J-STAGE」において学会誌発行直後の刊行分も閲覧できるように条件を整えさせていただきました。J-STAGE での論文活用の利便性が向上することで、会員の皆様の研究活動の活性化や会員間の交流促進などを期待しております。

7. 事務局からのお知らせ

(1) 会員情報更新、メール登録について

メール登録をしていただくようお願いいたします。（メールの配信数は多くはありません。）
メールアドレスの変更、住所変更は、以下の URL でできます。

<http://jrfs.org/nyukai.html>

不明な点がございましたら、ホームページ上の問い合わせメールでお願いします。事務的なことについては、共立のご担当者がおこたえいたします。

(2) 会費納入のお願い

第 6 3 期会費納入、過年度分についても納入をお願いいたします。

7. その他

○大会報告要旨集の公開について

過年度の要旨集を本学会の HP 上にて公開しております。以下の URL にてご覧ください。

<http://jrfs.org/youshi2019.pdf>

<http://jrfs.org/youshi2020.pdf>

地域漁業学会 <http://jrfs.org/>

本部事務局 株式会社共立内

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 新共立ビル (株)共立内

(担当：地域漁業学会) TEL: 03-3551-9896 FAX: 03-3553-2047

郵便振替：01750-0-83886

銀行振込：三菱 UFJ 銀行 新富町支店 普通 0146078